

令和2年度 第1回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 令和2年7月13日（月）午後2時から

場所 日進市役所本庁舎4階 第3会議室

出席委員 津金美智子、伊藤龍仁、南千景、高田由紀、衣川友紀、関根聖美、齋藤由美、牛田由美子、  
早川真理、早川里美、野澤宏之、井上晴子

欠席委員 なし

事務局 こども未来部 石川部長  
子育て支援課 棚瀬課長、三好補佐、味岡係長  
こども課 村瀬補佐

傍聴可否 可

傍聴有無 3名

<次第>

- ・あいさつ
- ・委員紹介等
- ・委員長、副委員長の選任
- ・議題
  - (1) 子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて
  - (2) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について
- ・その他

<議事録要旨>

- ・あいさつ
  - 【こども未来部長】（あいさつ）
- ・委員紹介等
  - 【委員】自己紹介
  - 【事務局】自己紹介
- ・委員長、副委員長の選任
  - 日進市未来をつくる子ども条例施行規則第7条に基づき、委員長・副委員長の選任を行った。
  - 委員の互選により、津金委員を委員長に選任した。
  - 津金委員長により、伊藤委員を副委員長に指名した。
- ・議題（1）子ども・子育て支援事業計画に係る評価シートについて
  - 【事務局】（基本目標1～5を説明）
  - 【委員】評価シート1～4のファミリー・サポート・センター事業の活動指標が下がったとの説明があった。令和元年度については、新型コロナウイルス感染症の影響があることも考えられるが、平成28年度以降微減傾向にある。ニーズの高い事業に思うが、何か要因は分析してい

るのか。

- 【事務局】平成30年度から令和元年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ニーズは高いものの、援助会員が新型コロナウイルス感染症の影響により活動を控えるなどしたため減少しました。それ以前の状況については、依頼のニーズは高いものの、依頼の内容に変化が見られ、子どもの預かりをメインとした事業であったものが、現在の依頼の半数は、塾や習い事への送迎支援の依頼となっており、援助会員の中には車で送迎支援を控える方も少なくないことから、援助会員数が伸び悩んでいます。今後、現在ファミリー・サポート・センター事業を受託している指定管理者の意見も聞きつつ、今後の在り方について検討していく予定です。
- 【委員】ファミリー・サポート・センター事業を利用するにあたって、手続きが煩雑であるとのことを他団体で聞いたことがある。もし、利用に関する手続きに課題があるのであれば、改善を進めてほしい。
- 【委員】市から受託してファミリー・サポート・センター事業を実施しているが、援助会員と依頼会員とでミスマッチが生じている。また、利用登録の手続きについては、年4回開催している登録会に参加しないと利用できないこととなっています。しかし、昨年度末から新型コロナウイルス感染症対策の一環で、個別登録を始めたら好評であったため、今後取り入れていけるように検討していきたいと考えている。
- 【委員】評価シート1-1の各年度の委員会意見として、「質の向上を図ってほしい」と毎年書かれているが、毎年意見として言われているのはなぜか。
- 【事務局】毎年、保育に関わる従事者数が増加していることや、保育環境の変化に伴い、求められる質も変化していることから、引き続き質の向上が必要であると考えられたことから、引き続き意見として出されたものです。
- 【委員長】平成27年度あたりから、国の基準が変動した時期でもあり、現場で従事する保育士も、その変動に対応することが求められることとなった。このため、現在の質が低いからではなく、変動に対応していくため毎年の指摘につながったものと思われる。
- 【委員】シート番号3-2の乳幼児健康診査の受診率が97.3%となっている。未受診者へのフォローは虐待を防止する観点からも重要と考えるが、何かアプローチしているのか。
- 【事務局】「居所不明児ゼロ」を目指し、未受診で病院等の受診中など状況が把握できていない世帯については、追跡を行い、必ず受診につなげるようにしています。ここ数年の間にも、1、2件未受診があったが、家庭相談員とも連携をはかり親族を調べるなどして追跡し、受診につなげています。実質の受診率は、100%になっています。
- 【委員】一市民として、乳幼児健康診査には、1日に多くの乳幼児世帯が訪れるので、コンスタントに検診は進むものの、悩みを抱えている保護者が相談するタイミングを逃していないか心配である。
- 【事務局】ご意見は担当課に伝えます。なお、本市では、乳幼児健康診査の時だけでなく、日頃から、子育てに関する悩みなどを気軽に相談できる窓口として、「ひよこテラス」を設置しています。令和元年度は、乳幼児健康診査の折や市民まつりなどで周知を図っており、日常的に相談しやすい体制を整えていきたいと考えています。
- 【委員】意見ですが、評価シート4-2のところで、補助教員について触れられており、年々増加させようとしている。子どもの発達支援に従事している立場として、補助教員を必要とする

児童の割合は増えてきているように思うので、引き続き、増員に努めてほしい。

【委員】評価シート5-6の平成30年度の改善提案のところで、「貧困世帯等の中学生向けに学習支援の場を検討」とされているが、令和元年度の分析評価をみる限り、令和元年度時点では小学生を対象としたのか。

【事務局】令和元年度は、平成30年度に引き続き小学生を対象に学習支援を行っていました。ただし、令和元年度に日進市遺児手当を見直し、数年かけて経済面の支援から生活面での支援にシフトさせていくこととしています。令和2年度は、その一環としてひとり親等の世帯の中学生向けに学習支援を始めています。

【委員】意見ですが、貧困対策としての学習支援は、重要なアプローチだと考えているので、これからも継続的に実施してほしい。

・議題（2）第2期日進市子ども子育て支援事業計画の推進について

【事務局】（説明）

ー質疑なしー

・その他

【事務局】令和2年度からの放課後子ども総合プランの見直しについて説明

ー質疑なしー

【委員長】他に無ければ、以上で第1回子ども施策推進委員会を終了します。

（閉会） 午後3時30分